



東日本大震災・支援対策本部ニュース



—届けようワイズの心—

余震がまだ続いています。被災地の方々にはいかに不安かと思えます。未だ9万名以上の方が避難生活を余儀なくされ、その内、約1万7千名は避難所生活を続けられています。仮設住宅に移られた方々の中にも困窮のあまり、食事が提供される避難所に戻られるケースもあるとのことです。街頭募金、バザーでの資金作り、被災地でのワーク、チャリティーコンサート等各クラブで様々な取り組みが行われ、あるいは計画されていることに感謝と感動を覚えます。どうぞより多くのクラブが被災地の方々への「気持ち」を具体的な「行動」に繋げていただけますように。

1. 支援募金

7月27日(水)現在の東日本区・東日本大震災支援募金の累計額は15,993,715円となりました。支援対策本部ではこの中から日本YMCA同盟に500万円を寄贈することといたしました。

日本YMCA同盟に集められる支援金は以下の用途に使われます。

- 地元の方々とともに
主に、子どもたちを対象としたリフレッシュキャンプやデイキャンプの実施費用として
- 被災地のYMCAのために
盛岡YMCA、仙台YMCAが被災地支援活動を持続するための運営費用として
- 復興を担うリーダーの育成
長期にわたる地域復興の担い手となるリーダー育成のため：
 - ・被災者のYMCA専門学校進学のための奨学金
 - ・リーダーシップ育成研修の実施費用として

どうぞ引き続き支援募金へのご協力をお願いいたします。

2. 「メネット千羽鶴」が贈呈されました。

7月16日(土)、多くのメネットの方々のご協力が集まった被災地の方々を励ます「折り鶴」38,000羽(レイにすると540本)の贈呈式が仙台YMCAにて行われました。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。



3. 各地のワイズメンズクラブ等の取組み ＜東京ひがしクラブ＞

7月3日(日)、廃業した瀬戸物屋さんから譲り受けた大量の食器の洗浄作業を行われました。近隣(東雲地区)に福島県から避難されてきている300所帯に配布される予定です。

＜チャリティーラン&ウォーク＞

横浜国際大会での「折鶴ラン」でも活躍された大野 勉さん(神戸ポートクラブ)が「東日

本大震災復興チャリティーラン&ウォーク」として、東京から仙台まで走られています。出発式は7月16日(土)9:00、日本橋橋上。17日(日)



には熊谷、23日(土)には宇都宮に到着されました。宇都宮では、とちぎYMCAが宇都宮市から管理を受託している「トライ東」

での「あそび祭り」会場で多くのワイズメン、市民が拍手で迎えました。翌24日(日)は矢板へ。8月1日(月)には那須高原に到着予定、その後、8月7日(日)の仙台入りを目指されています。神戸ポートクラブのDBCである東京むかでクラブを始め東日本区の多くのクラブが伴走等の支援を行っています。大野さんのウェブサイト

<http://www.hi-net.zaq.ne.jp/genkidesu/higashinihondaishinsai.html>

＜東京江東クラブ＞

東京江東クラブでは7月29日(金)～31日(日)、仙台YMCAとの協働で、宮城県南三陸町の小学校にてボランティアワーク活動を行いました。在仙台クラブ、東京ひがしクラブの有志も参加されました。成果等は次号で詳しくお伝えします。

4. 大震災情報コーナー開設

東日本区ウェブサイト内に東日本大震災関連の情報コーナーを開設しました。支援募金累計金額、募集中も支援物資等の最新情報、各種のニュース等を随時掲載しています。是非ご覧下さい。

<http://www.ys-east.or.jp/shinsai/index.html>

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 東日本大震災・支援対策本部

本部長：河合理事

本部統括：田中前書記(ITアドバイザー)

メンバー：駒田次期理事、松田直前理事、仲澤書記、高野会計、

長谷川地域奉仕事業主任、林事務所長、鈴木前事務所長、清水元理事、井上北東部部長